



平素より愛媛県立病院看護職員研修にご協力・ご参加いただきありがとうございます。

COVID-19 第6波は、収束の兆しの見えない状況が続いており、いよいよ小児を対象にワクチン集団接種も始まります。改めて基本的な感染予防を行うことの重要性を感じます。令和4年度診療報酬改定の基本方針（概要）では「新型コロナウイルス感染症にも対応できる効率的・効果的で質の高い医療提供体制の構築」が重点課題として挙がっています。私たちはより一層安全・安心な質の高い看護を求められています。2022年の干支「寅」は「厳しい冬を超えて芽吹き始める」という意味があるそうです。

しなやかで折れない心を持ち一歩 前へ！

4号:目次 お知らせ

- 研修シートについて
- マスコットキャラクター
県立今治病院のお名前
- 1.「我が病院の推し！」
～うちの病院のええトコ紹介します～南宇和病院編
- 2. 研修風景
 - *災害研修(公開研修)
 - *管理者育成研修(次席・看護長)

研修担当学会 愛媛県立病院看護
職員研修 愛媛県立中央病院内:
嶋屋

○研修シート：最終評価 研修生の皆様、1年間の研修参加・学びの実践への取り組みお疲れさまでした。年度末の最終評価を部署看護長・教育担当者へ提出したと思います。研修を受けることで、目指す自分に少し近づいたでしょうか？皆様が年度初めに立てた個人目標に連動しての評価となっていますか？研修目標にそって「知識・知識の応用・技術・態度」の習得度を数値で表すことで、弱い部分は次年度への課題へ！81%以上達成している部分はもっと強みにしていこう。コメントでは学びを実践に活かすことで起きた「自分や周りの変化」と「次への課題」も書きましょう。研修は受けたら終わりではなくて、次につなげることで力になり必ず**自分の成長**につながります。

<自己評価>

基礎知識の習得度

○81%以上 ○61～80% ○41～60% ○21～40% ○20%以下

知識の応用における習得度

○81%以上 ○61～80% ○41～60% ○21～40% ○20%以下

技術の習得度

○81%以上 ○61～80% ○41～60% ○21～40% ○20%以下

態度の習得度

○81%以上 ○61～80% ○41～60% ○21～40% ○20%以下

研修後の実践を通してあなたや周囲にどのような変化があったか



NURSING TRAINING COURSES IN EHIME PREFECTURAL HOSPITALS

○おなじみの病院マスコットキャラクター。

この度、今治病院のお名前がリニューアルしました。男の子は「おんまく」くん、女の子は「おるた」ちゃん さて、その由来は??

南宇和病院 外来・救急室

南宇和病院の診療圏域である愛南町は、他の地域よりも超高齢化が進んでいる地域です。外来では、糖尿病や心不全などの慢性疾患を抱えた患者様やご家族が、病気と上手に付き合いながらその人らしく生活ができるように、体調のチェックや健康管理のアドバイス、退院後の実生活で起こる様々な困りごとへの相談対応を行う継続看護に取り組んでいます。



慢性心不全看護認定看護師のサポートを受け、診療前に担当医と情報を共有し、スタッフを交えたカンファレンスで支援内容を検討・評価しています。

1年以内の心不全患者の再入院件数が減少してきました！

心不全手帳の記入も浸透してきました！



患者様の同意を得て掲載しています

ただいま、電話訪問中です。



患者様やご家族が安心して診療が受けられるよう笑顔をやさず、心のこもった丁寧な対応を心掛けています！！





2. 合同研修の風景



CSCATTT !



公開研修：災害研修

令和3年12月9日・10日

県内13施設の方が参加されました。計47名の方が「災害時の対応と看護」を考えました。来る「南海トラフ」に備え自施設や自病棟の災害マニュアル・アクションカードの見直しや修正にとりかかることはできましたか？



どうしよう、だれに
担当してもらう？

【いよゼロプロジェクト防災バックのチェックリスト】

- ☐非常袋 ☐飲料水 ☐非常食 ☐懐中電灯 ☐貴重品
- ☐スリッパ ☐お金 ☐簡易トイレ ☐着替え ☐救急用品
- ☐雨合羽 ☐軍手手袋 ☐ポリ袋 ☐筆記用具
- ☐笛ブザー ☐マッチライター ☐携帯ラジオ ☐シート毛布
- ☐防災ずきん・ヘルメット ☐トイレペーパー・ウェットティッシュ
- ☐定期内服 ☐自分に必要なもの

・・・背負って歩くに支障がない重さ★男性：15キロ★女性：10キロ・・・

研修後自部署の防災時の職員用3日間の備蓄物品を揃えた病棟もありました。即実践！素晴らしいです！

2. 合同研修の風景

「管理者育成研修」令和4年2月20日（日）2月21日（月）が開催されました。テーマは「看護管理と倫理—看護管理者としての倫理的課題に取り組む—」講師は、オフィスKATSUHARA 代表勝原裕美子氏です。必須図書「組織で生きる 組織と倫理のはざまで」を講師と読み込み、紐解いていきました。本に付箋を貼ったり・マーカーを引いたり・自分が倫理的課題だと思い記述してきた内容をグループディスカッションしていきました。事例をあげ講師に導かれるようにそのプロセスを解きほぐす作業を学びました。その結果、「あなたはすっきりしましたか？」の問。結果や成果も大切だけど、どうかかわったのか？そのプロセスを振り返る。「これぞと思う倫理的課題については、皆さんにもぜひ本書で紹介したさまざまな整理の仕方を試してほしいと願う。疑似体験を増やしたり、あえて立ち止まるということは、時間のない管理者にこそ必要な作業であるように思う。管理者は、部下を思い職場を思いながら仕事をしている。管理者としても人としてもよりよく生きたいと思っている。倫理は、多様な価値観がある中で、よりよく生きるためにどうあればよいのかを考えることだから、管理と倫理は本来ともにあるはずだ。しかし時として相克する。本書はそのはざまを生きる管理者たちが、明日も明後日も明後日も誇りをもって進んでいけることを思い描いて認めた。考えるのをやめるのではなく、考えるためにあえて立ち止まり、本書を読まれた方が、管理と倫理のはざまを生きることを通して、人としても管理者としても豊かになっていくことを感じていただければこんなに嬉しいことはない。」エピローグ：あえて立ち止まるということより



～fin～

勝原先生、ありがとうございました。

